



希望ある未来へ
地域と歩む
北海道財務局



道南経済レポート

VOL.130

令和8年6月発表

財務省函館財務事務所

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/hakodate/>



公式マスコットキャラクター
きたまるん

— 目 次 —

	ページ
道 南 経 済 の 概 況 _____	1
1. 個 人 消 費 _____	2
2. 観 光 _____	5
3. 住 宅 建 設 _____	6
4. 公 共 事 業 _____	7
5. 生 産 活 動 _____	8
6. 雇 用 情 勢 _____	9
7. 金 融 _____	10
8. 企 業 倒 産 _____	11

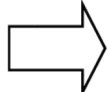


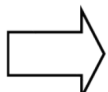


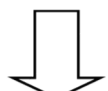
《利用上の注意》

- ・ 単位未満は四捨五入しているため、合計と内訳は一致しない場合があります。
- ・ 符号の用法は次のとおりです。
「p」～速報値 「r」～改定値 「-」～該当数値なし

【道南（渡島・檜山）経済の概況（令和8年1～3月期）】

住宅建設は弱含んでいる。生産活動は横ばいの状況にある。
 一方、雇用情勢は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっているほか、
 個人消費は緩やかに持ち直している。
 また、観光は回復している。
 このように、管内経済は持ち直している。

《道南経済レポート判断の推移》

項目	前回(令和8年2月発表)	今回(令和8年6月発表)	前回判断との比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
観光	回復している	回復している	
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる	
公共事業	前払金保証請負金額は前年を上回る	前払金保証請負金額は前年を上回る	
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	

1. 個人消費～緩やかに持ち直している

(1) 主要小売店売上高

大型小売店の売上高は、節約志向がみられるものの衣料品や飲食料品が堅調であったことから、前年を上回っている。

食料品スーパーの売上高は、節約志向がみられるものの米や即食簡便な弁当・総菜などが堅調であったことから、前年を上回っている。

ホームセンターの売上高は、まとまった降雪による除雪用品の売上増のほか、前年より早い雪解けにより園芸用品も好調であったことから、前年を上回っている。

家電販売は、エアコン、携帯電話及びテレビの買替需要などにより、全体としては順調となっている。

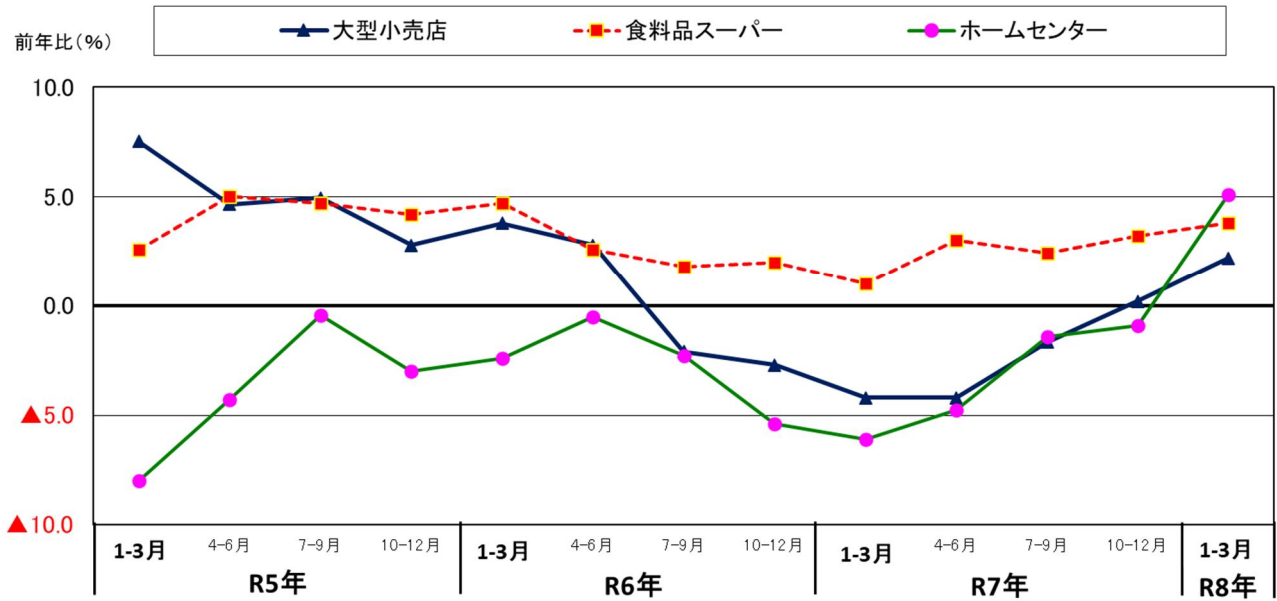
(2) 乗用車販売

乗用車販売(新車登録届出台数)は、人気車種の販売が堅調であるものの、環境性能割の廃止を見越した買い控えの影響により、前年を下回っている。

ヒアリング先からのコメント

- 商品単価が上昇している分、消費者が商品をより吟味する動きがみられる。(大型小売店)
- 飲食料品が米を中心に全体的に値上がりしているため、売上は増加しているほか、客単価も上昇している。(大型小売店、食料品スーパー)
- 節約志向は引き続き強いものの、日常使う商品は購入されており、消費者マインドが冷え込んでいるわけではない。(食料品スーパー)
- 節約志向が強い一方、生活必需品の需要は底堅い。(ホームセンター)
- 暖くなる時期が前年より早く、園芸用品が好調。(ホームセンター)
- 買替にあたっては、より高性能で省エネ性が高い商品が選ばれる傾向である。(家電量販店)
- 環境性能割の廃止を見越した買い控え・登録控えがみられた。(自動車)
- 人気車種の需要は底堅く、納期の長短にかかわらず発注されている。(自動車)

主要小売店売上高



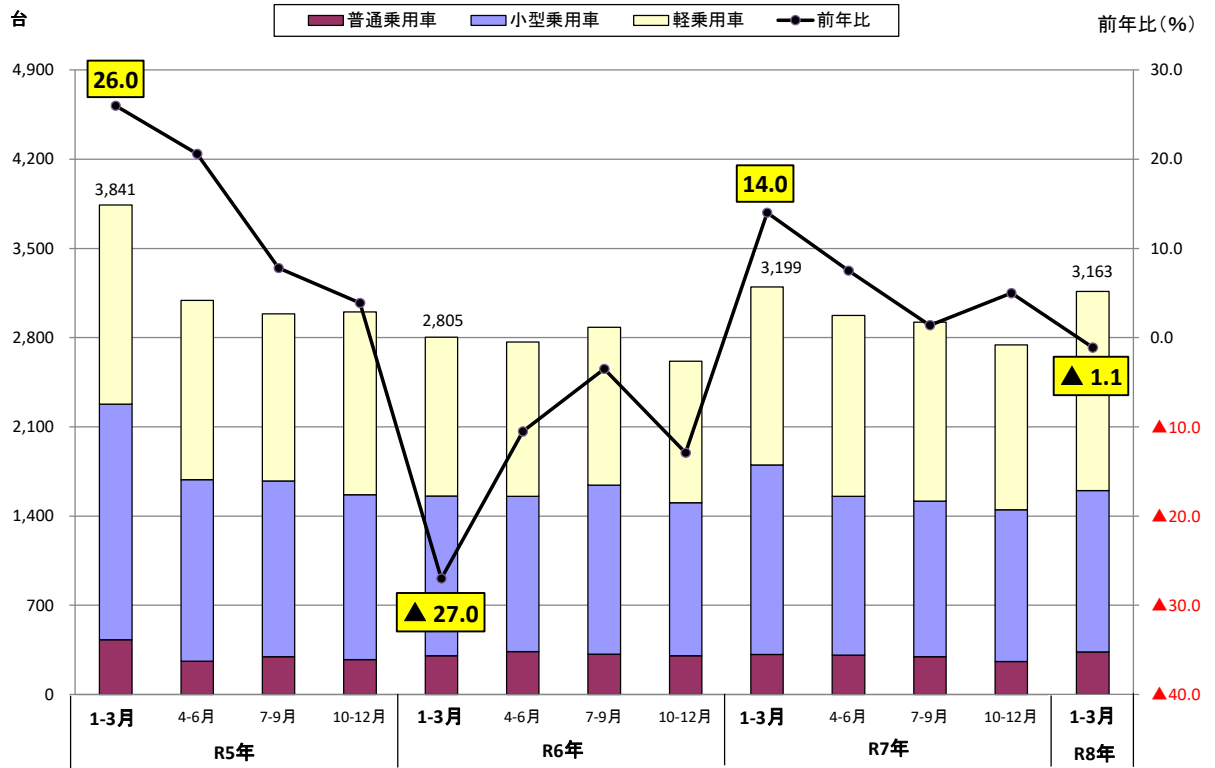
主要小売店売上高 (単位:百万円、%)

	①大型小売店売上高		②食料品スーパー売上高		③ホームセンター売上高	
	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比
R5 年	18,069	4.9	73,014	4.2	10,574	▲ 3.7
6 年	18,119	0.3	75,028	2.8	10,289	▲ 2.7
7 年	17,685	▲ 2.4	76,844	2.4	9,968	▲ 3.1
R7. 1~3	4,275	▲ 4.2	18,484	1.0	1,886	▲ 6.1
4~6	4,131	▲ 4.2	18,782	3.0	2,761	▲ 4.8
7~9	4,268	▲ 1.7	19,183	2.4	2,592	▲ 1.4
10~12	5,011	0.2	20,395	3.2	2,728	▲ 0.9
R8. 1~3	4,370	2.2	19,188	3.8	1,983	5.1
R7. 10	1,478	1.6	6,209	3.1	848	1.9
11	1,530	0.3	6,396	6.0	838	▲ 1.9
12	2,002	▲ 0.9	7,789	1.1	1,043	▲ 2.1
8. 1	1,507	3.3	6,493	4.4	656	6.1
2	1,360	3.6	6,261	4.1	556	1.2
3	1,504	▲ 0.1	6,435	2.9	771	7.3

※管内主要小売店9社

資料: 函館財務事務所

乗用車販売



新車登録届出台数(乗用車)

(単位: 台、%)

		合計		普通乗用車		小型乗用車		軽乗用車	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
R5	年	12,921	14.6	1,262	65.2	5,944	15.0	5,715	7.0
R6	年	11,068	▲14.3	1,265	0.2	5,000	▲15.9	4,803	▲16.0
R7	年	11,839	7.0	1,179	▲6.8	5,141	2.8	5,519	14.9
R7.	1~3	3,199	14.0	314	2.6	1,487	18.7	1,398	12.2
	4~6	2,974	7.5	309	▲8.3	1,245	2.0	1,420	17.4
	7~9	2,921	1.4	297	▲6.6	1,220	▲7.9	1,404	13.4
	10~12	2,745	5.0	259	▲14.8	1,189	▲1.1	1,297	17.0
R8.	1~3	3,163	▲1.1	334	6.4	1,265	▲14.9	1,564	11.9
R7.	10	1,050	2.7	109	10.1	453	▲7.4	488	12.4
	11	920	▲0.9	81	▲31.4	395	▲10.0	444	19.7
	12	775	16.5	69	▲20.7	341	24.5	365	20.1
R8.	1	801	▲12.6	101	7.4	331	▲23.7	369	▲5.1
	2	949	▲1.6	92	5.7	376	▲19.1	481	16.7
	3	1,413	7.2	141	6.0	558	▲5.1	714	19.6

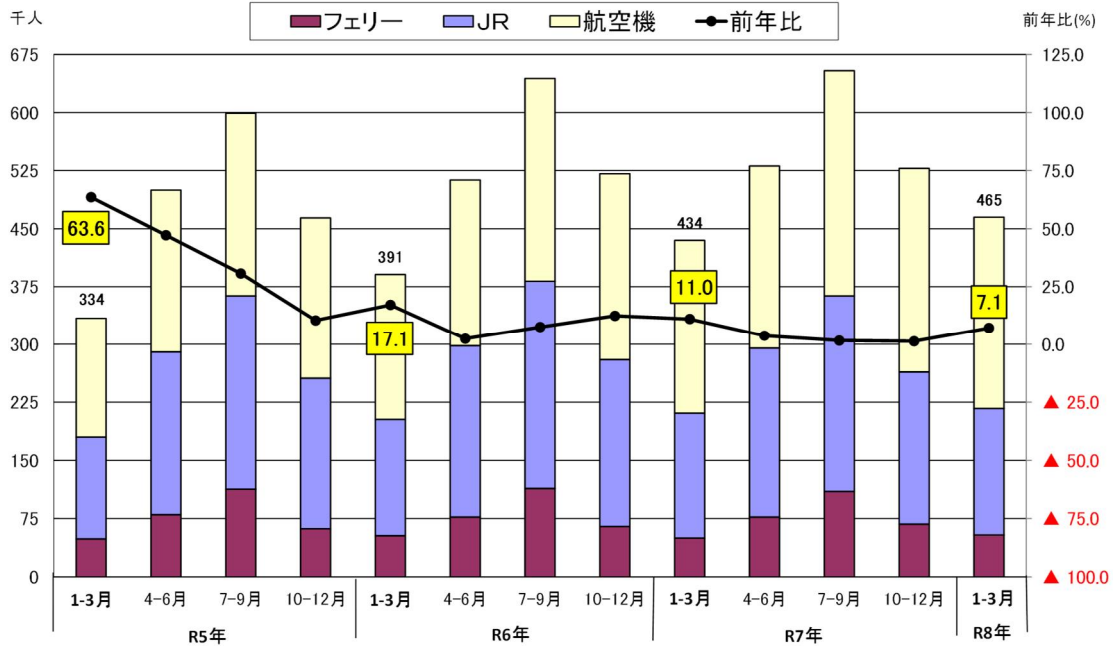
資料: 日本自動車販売協会連合会図書館支部、全国軽自動車協会連合会図書館事務所

2. 観光～回復している

函館圏の入込客数※1、主要宿泊施設宿泊者数及び主要観光施設利用者数は、観光需要が堅調となっていることから、回復している。

※1: フェリー(青森→函館便)、JR(新青森→新函館北斗)、航空機(函館空港着便)利用者数を「函館圏の入込客数」と表現した。

入込客数



	函館圏の入込客数														主要宿泊施設 宿泊者数		主要観光施設 利用者数※3	
	合計		フェリー 青森→ 函館		JR (津軽海峡線)		航空機※2						前年比		前年比			
	前年比	前年比	前年比	前年比	合計	前年比	道内	前年比	道外	前年比	海外	前年比	前年比	前年比	前年比			
R5年度	1,954	25.9	309	11.1	804	38.6	842	21.1	102	12.9	689	14.1	50	皆増	1,504	19.6	2,654	42.4
6年度	2,112	8.1	305	▲1.2	865	7.6	942	11.9	120	17.4	742	7.7	80	58.4	1,699	12.9	3,448	29.9
7年度	2,178	3.1	309	1.3	830	▲4.1	1,039	10.4	121	0.4	818	10.2	101	27.0	1,706	0.4	3,362	▲2.5
R7. 1~3	434	11.0	50	▲6.6	161	7.3	224	18.9	28	31.8	178	23.4	18	▲20.7	366	21.8	781	36.8
4~6	531	3.7	77	0.5	218	▲1.4	236	10.0	31	8.5	187	12.7	18	▲10.0	407	0.0	836	0.7
7~9	654	1.6	110	▲3.2	253	▲5.6	291	11.0	33	▲1.3	233	12.8	25	11.9	500	▲1.0	1,062	▲2.0
10~12	528	1.3	68	4.7	196	▲8.9	264	9.5	29	▲4.6	208	8.2	27	46.6	432	2.7	706	▲6.2
R8. 1~3	465	7.1	54	8.3	163	1.2	248	11.0	28	▲0.2	190	7.0	30	66.0	366	▲0.0	758	▲3.0
R7. 10	197	4.4	26	1.1	75	▲4.5	96	13.6	12	3.5	74	12.9	10	36.2	160	3.8	195	▲17.5
11	172	4.7	21	10.5	66	0.5	85	6.7	10	▲5.2	67	4.0	9	60.3	135	3.4	248	11.4
12	159	▲5.4	21	3.8	55	▲22.5	83	7.9	8	▲13.7	66	7.4	9	46.0	137	0.9	262	▲10.6
R8. 1	136	▲4.7	16	0.0	45	▲13.5	76	0.4	7	▲21.8	58	▲1.7	11	45.6	116	▲9.7	198	▲26.6
2	145	7.5	14	8.0	52	▲1.9	79	14.6	9	5.5	60	9.4	10	81.0	117	3.5	251	7.5
3	184	17.4	24	14.6	66	17.9	94	17.8	12	14.0	72	13.0	10	77.7	132	6.9	309	11.2

※2: 航空機の道内線は奥尻線を除く。

※3: 主要観光施設は、函館山ロープウェイ・箱館奉行所・五稜郭タワーの利用者数を集計。

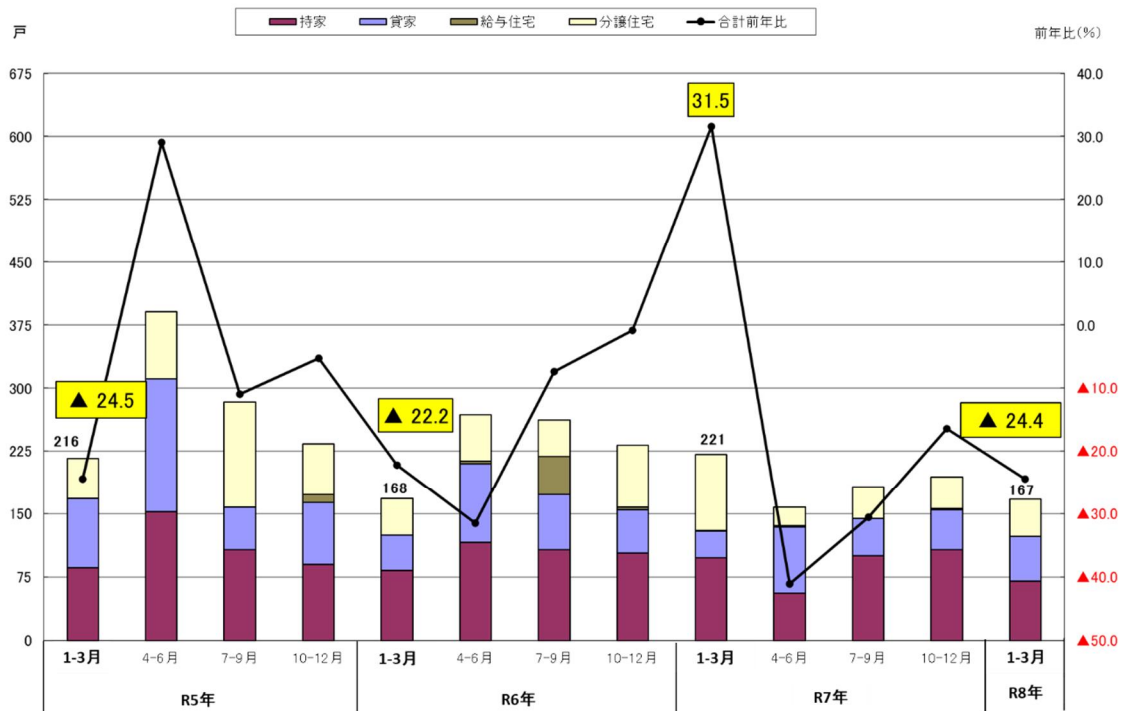
ヒアリング先からのコメント

- 国内客、海外客のいずれにとっても、円安傾向が続いていることが好調さの背景にあると考えられる。(交通機関)
- 直行便が就航している韓国客や台湾客が増加し、中国客の減少を補った。(宿泊施設)
- 3月は卒業旅行と思われる若い世代の宿泊が多かった。(宿泊施設)
- 3月の3連休は、北海道新幹線開業10周年イベントにより、利用者数が多かったと考えている。(観光施設)

3. 住宅建設～弱含んでいる

新設住宅着工戸数(函館市、北斗市)をみると、貸家は前年を上回っているものの、持家及び分譲住宅はいずれも前年を下回っており、弱含んでいる。

新設住宅着工戸数（函館市、北斗市）



新設住宅着工戸数

(単位: 戸、%)

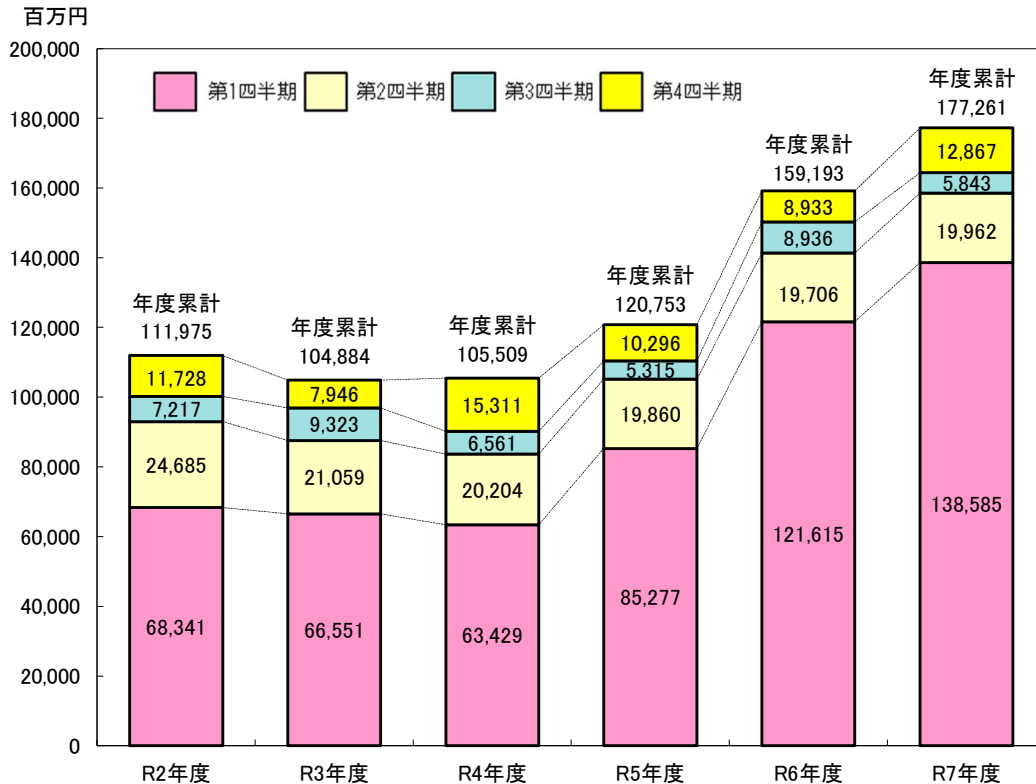
		新築計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
R5	年	1,124	▲ 2.6	435	▲22.5	365	14.1	10	2.5倍	314	16.7
	6年	930	▲17.3	409	▲ 6.0	254	▲30.4	52	5.2倍	215	▲31.5
	7年	755	▲18.8	361	▲11.7	201	▲20.9	4	▲92.3	189	▲12.1
R7	1~3	221	31.5	98	18.1	31	▲ 26.2	1	皆増	91	2.1倍
	4~6	158	▲ 41.0	56	▲ 51.7	78	▲ 17.0	2	▲33.3	22	▲ 60.0
	7~9	182	▲ 30.5	100	▲ 6.5	44	▲ 33.3	0	皆減	38	▲ 11.6
	10~12	194	▲ 16.4	107	3.9	48	▲ 7.7	1	▲66.7	38	▲ 48.6
R8	1~3	167	▲ 24.4	70	▲ 28.6	53	71.0	0	皆減	44	▲ 51.6
R7	10	77	▲ 3.8	37	8.8	27	50.0	0	皆減	13	▲48.0
	11	64	▲ 4.5	30	▲ 9.1	20	2.2倍	1	皆増	13	▲48.0
	12	53	▲37.6	40	11.1	1	▲96.0	0	0.0	12	▲50.0
R8	1	80	2.3倍	25	25.0	33	6.6倍	0	0.0	22	2.2倍
	2	31	▲52.3	21	16.7	0	0.0	0	0.0	10	▲78.7
	3	56	▲53.7	24	▲60.0	20	▲23.1	0	皆減	12	▲64.7

資料: 国土交通省

4. 公共事業～前払金保証請負金額は前年を上回る

公共工事を前払金保証請負金額(年度累計)で見ると、国、北海道、市町及び独立行政法人等はいずれも前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位:百万円、%)

	管内累計 (年度)		管内単月計	
		前年比		前年比
R5年度	120,753	14.4	—	—
6年度	159,193	31.8	—	—
7年度	177,261	11.3	—	—
R7. 1～3	159,193	31.8	8,933	▲ 13.2
4～6	138,585	14.0	138,585	14.0
7～9	158,547	12.2	19,962	1.3
10～12	164,392	9.4	5,843	▲ 34.6
R8. 1～3	177,261	11.3	12,867	44.0
R7. 10	161,569	12.0	3,021	1.0
11	163,122	9.2	1,553	▲ 69.7
12	164,392	9.4	1,269	53.1
R8. 1	166,329	10.5	1,936	7.5倍
2	167,260	10.5	931	1.8
3	177,261	11.3	10,000	28.9

資料:北海道建設業信用保証(株)

5. 生産活動～横ばいの状況にある

電子部品は、自動車向けを中心に底堅い。

セメントは、道内、道外及び海外向けの出荷は底堅い状況となっている。

生コンクリートは、民需は前年並みであったものの、北海道新幹線の延伸工事向けの出荷を中心とする官需は減少している。

造船は、総じてみると安定した操業となっている。

一般機械は、国内向け、海外向けともに需要は低迷している。

珍味加工は、慢性的な資源不足などの影響により仕入価格が上昇する中、食料品スーパーや催事での需要が販売価格の上昇から減少しており、全体では低調となっている。

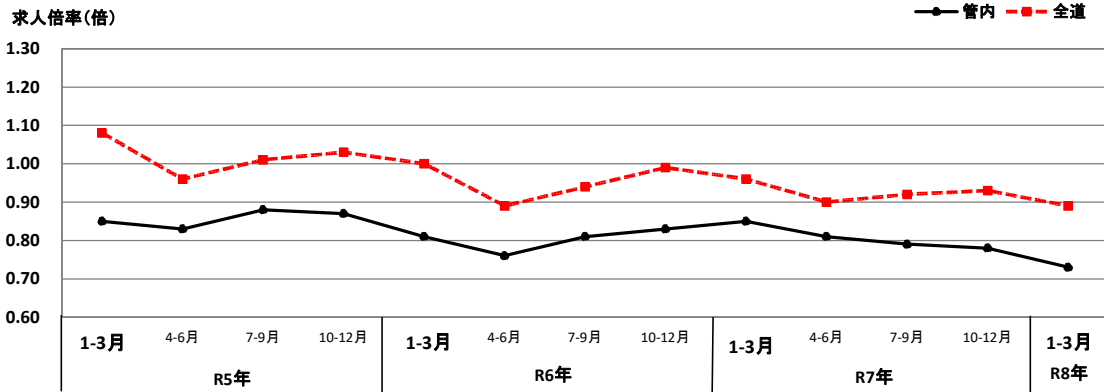
ヒアリング先からのコメント

- 不漁により先行きは不透明であることから、設備更新に対する投資意欲は弱い。
(一般機械)
- 世界的に原料の不足感が高まっているほか、為替安の影響もあって他国との仕入競争が厳しさを増している。(食料品製造)
- 値上げ幅が経費の増加に追いついていないが、値上げすると顧客が離れかねず、大幅な値上げは難しい。(食料品製造)

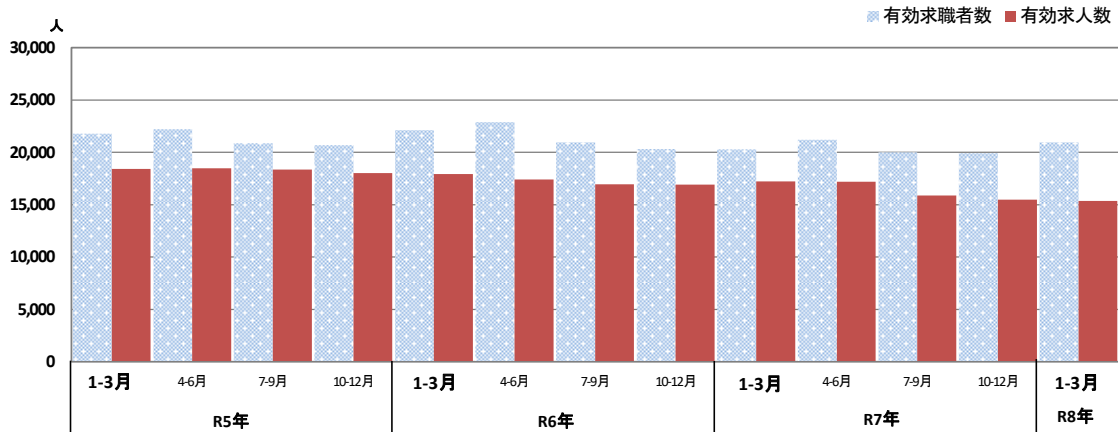
6. 雇用情勢～持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

雇用情勢は、人手不足が続く中、人件費増加等を背景として求人数が減少していることなどから、有効求人倍率(常用)は低下している。

有効求人倍率(常用)



有効求職者数・有効求人数(常用)



労働力需給(常用)

(単位:人、%、倍、ポイント)

年次	有効求職者数	前年比	有効求人数	前年比	有効求人倍率		新規求職申込件数		新規求人数		新規求人倍率		事業主都合離職者数	前年比
					前年差	前年比	前年差	前年比	前年差	前年比				
R5年度	85,857	▲ 2.3	72,802	▲ 4.4	0.85	▲ 0.02	16,794	▲ 3.4	25,880	▲ 4.0	1.54	▲ 0.01	2,004	▲ 10.2
6年度	84,470	▲ 1.6	68,499	▲ 5.9	0.81	▲ 0.04	16,104	▲ 4.1	24,297	▲ 6.1	1.51	▲ 0.03	1,860	▲ 7.2
7年度	82,105	▲ 2.8	63,895	▲ 6.7	0.78	▲ 0.03	15,911	▲ 1.2	22,312	▲ 8.2	1.40	▲ 0.11	1,851	▲ 0.5
R7. 1~3	20,274	▲ 8.2	17,215	▲ 4.0	0.85	0.04	4,295	▲ 8.9	6,479	▲ 4.8	1.51	0.07	546	▲ 5.0
4~6	21,197	▲ 7.4	17,192	▲ 1.3	0.81	0.05	4,471	▲ 2.6	5,933	▲ 2.0	1.33	0.01	523	1.9
7~9	20,012	▲ 4.6	15,874	▲ 6.3	0.79	▲ 0.02	3,552	1.9	5,418	▲ 7.5	1.53	▲ 0.15	326	26.8
10~12	19,919	▲ 2.0	15,491	▲ 8.5	0.78	▲ 0.05	3,543	▲ 5.1	5,306	▲ 10.2	1.50	▲ 0.08	492	▲ 9.6
R8. 1~3	20,977	3.5	15,338	▲ 10.9	0.73	▲ 0.12	4,345	1.2	5,655	▲ 12.7	1.30	▲ 0.21	510	▲ 6.6
R7. 10	6,750	▲ 3.1	5,289	▲ 7.3	0.78	▲ 0.04	1,239	▲ 9.8	2,102	▲ 9.9	1.70	0.00	86	▲ 35.8
11	6,661	▲ 3.1	5,205	▲ 7.8	0.78	▲ 0.04	1,150	▲ 3.6	1,705	▲ 12.1	1.48	▲ 0.15	168	13.5
12	6,508	0.2	4,997	▲ 10.3	0.77	▲ 0.09	1,154	▲ 1.1	1,499	▲ 8.5	1.30	▲ 0.10	238	▲ 9.2
R8. 1	6,802	0.5	4,886	▲ 7.1	0.72	▲ 0.06	1,507	▲ 1.0	2,070	▲ 2.1	1.37	▲ 0.02	262	7.4
2	6,949	4.2	5,145	▲ 12.1	0.74	▲ 0.14	1,313	4.5	1,890	▲ 19.8	1.44	▲ 0.44	116	▲ 22.7
3	7,226	5.7	5,307	▲ 13.1	0.73	▲ 0.16	1,525	0.5	1,695	▲ 15.6	1.11	▲ 0.21	132	▲ 13.2

※常用は新規学卒者を除きパートタイムを含む。
事業主都合離職者数は新規学卒者及びパートタイムを除く。

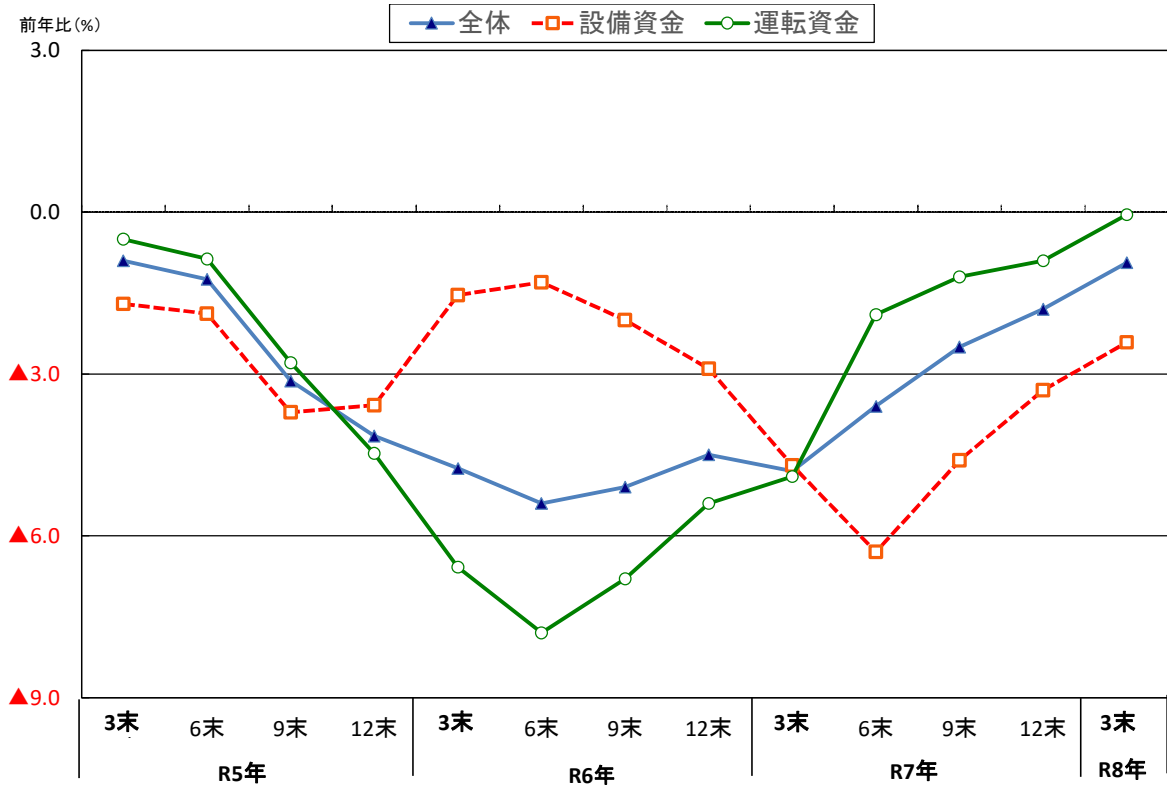
資料: 函館公共職業安定所

7. 金融～事業者向け貸出金残高は前年を下回る

事業者向けの貸出金残高をみると、設備資金及び運転資金は、いずれも前年を下回っている。

なお、個人向けは前年を上回り、地公体向けは前年を下回っている。

事業者向け貸出金月末残高



貸出金残高

(単位:億円、%)

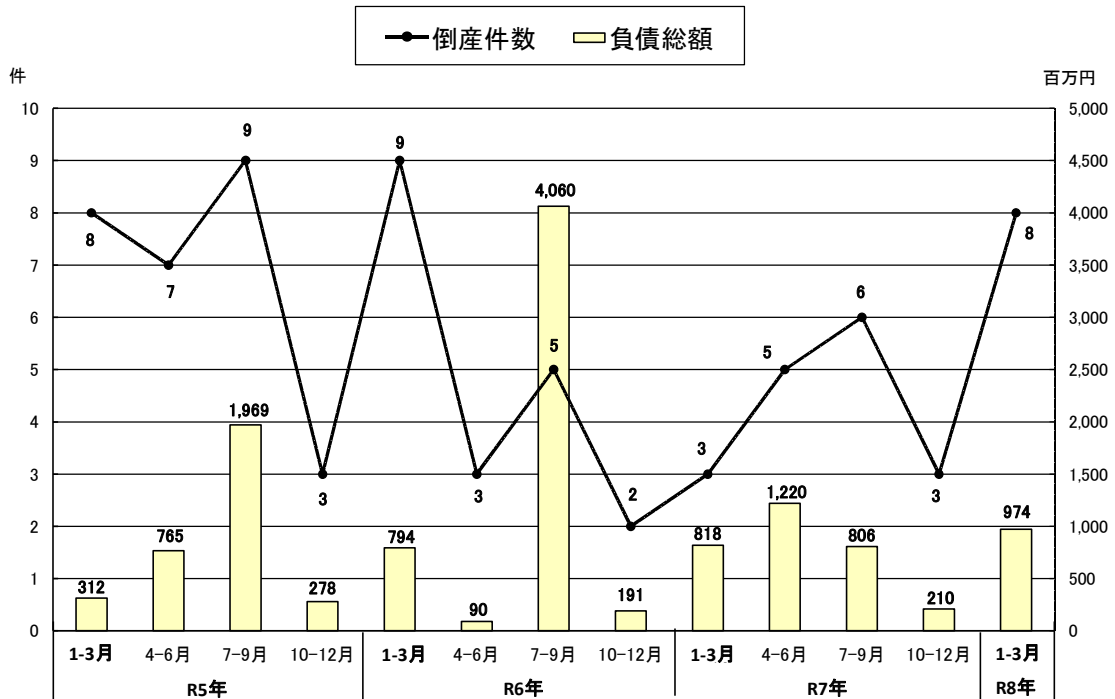
	貸出金合計		事業者				個人		地公体		預金残高				
		前年比		前年比	設備	運転	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比				
					前年比	前年比									
R6.	3	9,883	▲2.0	5,061	▲4.8	1,899	▲1.5	3,163	▲6.6	3,365	1.5	1,457	0.1	18,109	1.7
7.	3	9,556	▲3.3	4,817	▲4.8	1,810	▲4.7	3,007	▲4.9	3,399	1.0	1,341	▲8.0	18,194	0.5
8.	3	9,533	▲0.2	4,772	▲0.9	1,766	▲2.4	3,006	▲0.0	3,428	0.9	1,334	▲0.5	18,299	0.6
R7.	9	9,492	▲1.7	4,773	▲2.5	1,770	▲4.6	3,002	▲1.2	3,408	0.8	1,311	▲4.8	18,290	0.1
	12	9,631	▲1.3	4,897	▲1.8	1,780	▲3.3	3,117	▲0.9	3,424	0.7	1,309	▲4.7	18,585	0.1
R8.	3	9,533	▲0.2	4,772	▲0.9	1,766	▲2.4	3,006	▲0.0	3,428	0.9	1,334	▲0.5	18,299	0.6

資料: 函館財務事務所

8. 企業倒産～件数及び負債総額は前年を上回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)をみると、件数及び負債総額は前年を上回り、1件当たり負債額は前年を下回る。

企業倒産



企業倒産

(単位：件、百万円、%)

	件数	負債総額		1件当たり負債額			
		前年比	前年比	前年比	前年比		
R5	年	27	50.0	3,324	▲19.2	123	▲46.3
6	年	19	▲29.6	5,135	54.5	270	2.2倍
7	年	17	▲10.5	3,054	▲40.5	180	▲33.3
R7.	1～3	3	▲66.7	818	3.0	273	3.1倍
	4～6	5	66.7	1,220	13.6倍	244	8.1倍
	7～9	6	20.0	806	▲80.1	134	▲83.5
	10～12	3	50.0	210	9.9	70	▲27.1
R8.	1～3	8	2.7倍	974	19.1	122	▲55.3
R7.	10	1	皆増	80	皆増	80	皆増
	11	0	皆減	0	皆減	0	皆減
	12	2	2.0倍	130	▲13.3	65	▲56.7
R8.	1	2	2.0倍	168	4.8倍	84	2.4倍
	2	2	0.0	163	▲79.2	82	▲79.1
	3	4	皆増	643	皆増	161	皆増

資料：(株)東京商工リサーチ函館支店

「道南経済レポート」や、北海道財務局の活動についての情報は、各種公式 SNS でもご覧いただけます。

公式 X(旧 Twitter)

https://x.com/mof_hokkaido



公式 Facebook

<https://www.facebook.com/Hokkaido.Local.Finance.Bureau/>

公式 Instagram

https://www.instagram.com/mof_lfb_hk



【編集後記】

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。
おかげさまで「道南経済レポート」を発刊することができました。

これからも地域の状況を丁寧に見ながら、わかりやすくお伝えしていきたいと思っています。
「ここが気になるな」といった点などがありましたら、どうぞお気軽にお知らせください。



北海道財務局の公式マスコットキャラクター
「きたまるん」 が誕生しました！

まるいしっぽで人と地域をやさしくつなぎ、
北海道とともに歩む公式アンバサダーです🐾
おだやかで誠実、ちょっぴり心配性な性格も魅力。

今後の活躍をお楽しみに！

【連絡先】

財務省 函館財務事務所 財務課

函館市美原 3 丁目 4 番 4 号 (函館第 2 地方合同庁舎)

TEL : 0138 - 47 - 8445

ホームページ :

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/hakodate/>

